

令和 7 年 3 月 3 1 日

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況等について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立波野小学校（外 10 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立波野小学校	http://www.sopia.or.jp/namino/wp/?page_id=8899	http://www.sopia.or.jp/namino/wp/?page_id=8899

2. 特別の教育課程の内容

（1）特別の教育課程の概要

これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第 1 学年及び第 2 学年の生活科 20 時間を外国語活動に替えて実施する。

（2）学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002 年には FIFA ワールドカップの会場地となり、2020 年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

（3）特例の適用開始日

2007 年 4 月

2018 年 4 月 変更

（4）取組の期間

2030 年 4 月まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- | |
|---|
| ☒ 計画通り実施できている
☐ 一部、計画通り実施できていない
☐ ほとんど計画通り実施できていない |
|---|

(2) 実施状況に関する特記事項

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- | |
|--|
| ☒ 実施している
☐ 実施していない |
|--|

<特記事項>

(1) 第1学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかというと楽しい	どちらかというと楽しくない	楽しくない
52.6%	19.3%	15.8%	12.3%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかというと楽しい	どちらかというと楽しくない	楽しくない
68.4%	22.8%	1.8%	7.0%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになりたい	どちらかというと話せるようになりたい	どちらかというと話せるようにならなくてもよい	話せなくてもよい
75.4%	14.0%	3.5%	7.0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかというと知りたい	あまり知りたくない	知らなくてよい
64.9%	22.8%	7.0%	5.3%

(2) 第2学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
59.2%	35.2%	1.4%	4.2%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
50.7%	26.8%	16.9%	5.6%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
67.6%	18.3%	4.2%	9.9%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという 知りたい	あまり知りたくな い	知らなくてよい
63.4%	16.9%	12.7%	7.0%

(3) 教職員による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうと する態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	思わない
81.0%	14.3%	4.8%	0.0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっている と思いますか。			
思う	どちらかという 思う	どちらかという 思わない	思わない
85.7%	9.5%	4.8%	0.0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活、習慣、行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
61.9%	33.3%	4.8%	0.0%

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。 (自由記述)
・ゲームなど遊びの活動の中から、英語に親しんでしけるようにしてほしい。 ・外国語の音に慣れ親しむために、なるべく多くのインプットを行えるといいと思います。 ・外国の文化に慣れ親しみ、興味を持って学習したいという意欲を引き出すこと。 ・母国語以外の他言語を学ぶことは、他文化を肌で知る機会にもつながる。 ・基礎的な日常会話の習得。挨拶や身の回りの事象。 ・小学校低学年の頃から、英語に触れることによって、コミュニケーション能力の向上が後々見込まれるのではないかと思います。 ・英語で会話することへの慣れ。アルファベットが少し書ける。 ・低学年から外国語活動を行うことで、外国語の表現に慣れ親しみ、語彙を増やすことに繋がるのではないかと思います。 ・耳から英会話が入り、コミュニケーションが取れるのがいいと思います。 ・外国語活動に対する動機付けを行う。英語嫌いにさせないことが一番の課題であると考えます。 ・外国語を話してみたいと思うきっかけづくり。 ・自信をもって、英語に慣れ親しめるようになってほしい。 ・英語の歌などをもっと歌ったり、外国語文化にふれたりする体験を増やしてほしいです。 ・挨拶や簡単な質問を通して、友達とコミュニケーションを取ろうという気持ちになること。 ・友達と積極的にコミュニケーションをとったり、自己を表現したりすることができること。

(4) 保護者による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
50.0%	38.0%	10.0%	2.0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
70.0%	28.0%	2.0%	0.0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活、習慣、行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
32.0%	48.0%	%	2.0%

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。 (自由記述)			
・外国語を身近に感じ、興味をもってもらいたい ・英語に慣れ親しむこと。 ・海外への興味。 ・外国語に慣れることができる。 ・英文を書くことより、単語を覚えて話せること。 ・歌やダンスなどで楽しんで取り組めたらいいなと思います。 ・英語が好きで得意としてくれることを期待したい。 ・身近に感じてもらう。 ・将来やりたい事選択肢が更に増えること。 ・楽しく英語に触れること。 ・とにかく楽しく、間違えても恥ずかしくないよ！と自信を持って人とコミュニケーションをとることができるような活動を期待します。 ・外国語の学習を通して楽しく外国に対して興味をもち自分から学習できるようになること。 ・低学年で外国語はまだ早いと思います。 ・ネイティブな発音を継続して「聴かせる」期間として、英語の授業時間(回数)を増やしてほしい。低学年はとにかく英語のシャワーの期間で聴きわかる耳づくりをしてほしい。 ・興味をもってくれたらいい			

- ・海外の方との交流。
- ・英語を楽しむこと、リスニング力の向上
- ・日常会話がスムーズに出来るようになって欲しい。外国に興味をもち、アニメや映画も外国語で観たいと思って欲しい。
- ・週3時間くらいに増やして、もっと慣れしただけで欲しい。
- ・親世代で感じた、中学からの英語の抵抗を今の子達に感じて欲しくないのも、英語の挨拶などに親しんで欲しい。
- ・日常的に使える
- ・よりも国語力が大事。文章を書くことや会話を通じて気持ちを伝える力がとにかく低くなっている。
- ・外国語で会話できるようになることの近道になればと思う。
- ・外国語に興味をもつきっかけになる。
- ・英語、日常会話も含め、外国語に関心をもち、異文化や多種の考え方など理解して行く機会になることを期待します。
- ・苦手意識がつかないようにすることに期待。
- ・楽しく学ぶ。
- ・楽しんで学ぶこと。
- ・今年度の先生は女性で、娘からすると授業外でもコミュニケーションがとれて、大好きだったようで、英語もっと話したいと家でも話してくれました。低学年のうちは、学ぶというより、好きになり楽しめたらいいと思っています。
- ・楽しめること。
- ・楽しく学び、より慣れ親しむことにより興味関心が高まれば学ぶ意欲も高まると思うが現在そこまでのあまり実感はない。外国語活動の機会を増やすか内容の工夫に期待したいです。
- ・楽しく外国語を学べること。
- ・日常会話くらい話せるようになってほしい！
- ・会話を重視した指導をしてほしい。
- ・英語に慣れる。
- ・身近な物の名前や簡単な会話を楽しく学ぶことによって、英語に興味をもてるようになることを期待します。
- ・日常で使える英語力の習得。
- ・外国語に対して耳を慣らすこと。
- ・耳や発音をきかえられる。
- ・スキルを身に付けること。
- ・楽しく外国語に触れるきっかけとなること。
- ・単語や挨拶など少し話せるようになることを期待します。
- ・英語を身近に感じられる様に、座学的な学びより体を使って楽しく学びができたら良いなと思います。
- ・活動は素晴らしいと思いますが期待はありません。子供が関心をもっていたら答えは変わるかもしれませんが、子供本人は完全拒否姿勢です。
- ・アウトプットの機会が増えるといいと思います。英語を使う。英語でコミュニケーションをはかったり、外国人と日本人の文化の違いから質問など出来る機会が増えるといいと思います。
- ・ネイティブスピーカーとの会話、コミュニケーション。

- ・日本語以外の言葉に慣れること。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

歌ったり、踊ったりして楽しく活動に取り組み、外国語に慣れ親しむきっかけになっている。ペアやグループで友達と交流しながら外国語活動を楽しんでいる。

一方、習い事で英語を学んでいる児童は積極的に授業に参加できているが、初めて外国語活動をする児童は見ていただけになってしまう。TPRに楽しく取り組み、ジェスチャーはできるが、外国語での言葉がなかなか出てこない。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

目的・場面・状況をそろえた単元課題を設定し、児童が単元を通して主体的に学べるようにした。多くの児童が楽しみながら、意欲的に外国語でコミュニケーションを取る姿が見られた。6年生が受検した英検ESGでは、リスニング（聞くこと）の平均正答率が85.0%、リーディング（読むこと）の平均正答率が87.8%であった。

一方、英語が話せる児童、話せないと感じる児童の二極化が見られる。外国語の指導に難しさを感じている先生もいる。

5. 課題の改善のための取組の方向性

単元課題を工夫し、相手意識をもって言語活動に取り組めるようにする。「Small talk」の活動で日常的に、既習表現を用いる時間を確保したり、児童が楽しみながら必要な表現を活用したりできるようにする。先生方が自信をもって外国語の授業を行うための研修が必要である。